

「危機」と対峙する保守思想誌

表現者 クライテリオン・シンポジウム
criterion

「沖縄で考える保守思想」

主催：表現者クライテリオン編集部 協賛：株式会社国際リゾート研究所／啓文社書房

2018
8月20日（月）

時間：19：00～21：00

場所：宜野湾市・フェストーネ
多目的ホール

沖縄県宜野湾市真志喜 3-28-1

TEL：098-898-1212

FAX：098-898-1733

参加費：2000円（当日、会場にて申し受けます）

参加申し込み：『表現者クライテリオン』公式ウェブサイト内の申し込みページ（URL は下記のとおり）
からお申し込み頂くか、氏名及びメールアドレスを事務局までご連絡下さい。

https://the-criterion.jp/okinawa_symposium/

懇親会：同会場にて、シンポジウム直後に懇親会を予定しています。（会費別途）

事務局（問い合わせ先）

啓文社書房

〒160-0022 東京都新宿区新宿1-29-14パレドール新宿202

03-6709-8872（電話） 03-6709-8873（FAX）

Email：info@kei-bunsha.co.jp



申し込み専用 QR コード

登壇者



藤井聡

（表現者クライテリオン編集長
内閣官房参与
京都大学大学院教授）



柴山桂太

（京都大学大学院准教授）



浜崎洋介

（文芸批評家）



川端祐一郎

（京都大学大学院助教）



藤原昌樹

（国際リゾート研究所）

沖縄は思想や政策の“クライテリオン（規準）”を探る討論に絶好の地です。尖閣に象徴される領土問題、日米安保と米軍基地、東京一極集中の弊害と地方振興、防災・交通インフラの不足など、我が国の将来を大きく左右する課題が沖縄には集中しているからです。

日本は今、様々な国家的な危機に直面しています。「危機と対峙する保守思想誌」として立ち上げられた『表現者クライテリオン』は、日本の各種危機と対峙するための「クライテリオン」を探し求め、そんな日本のクライテリオンを探し求めるにあたって絶好の場所、沖縄でシンポジウムを開催します。